

奈良 雪の天和山 ミニスキーの利用

メンバー：I.O K.O (記録)

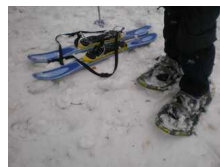
コースタイム：和田集落 7:50～第3鉄塔 9:20～1,183mピーク 10:40～山頂(11:50 着 12:15 発)～
スキー終了点 13:30～和田集落 15:00

大雪の時期を狙って天和山に登りました。この山は登り残している奈良百遊山の一つです。先日の3連休にかなりの雪が降っていると思い、洞川での積雪情報を調べると30cmでした。そこで、予てより考えていたミニスキーの利用を試みました。雪不足の昨今、関西近郊の低山、特に奈良県辺りで山スキーをやると思えば、ミニスキーの利用が良いのではと考えていました。そこで、今回の装備はミニスキーとわかにしました。Iさんは先日購入したスノーシューを試すためのアタックです。

和田集落に7時半過ぎに着き、すぐに準備して7時50分に出発。出発地点の和田発電所辺りは20cm程の積雪でしたが、第3鉄塔辺りで30cm、第4鉄塔辺りで40cmと増え、つぼ足では登り辛くなってきました。それでもつぼ足で1,183mピークを過ぎ、川瀬峠まで進みました。そして最後の登りで積雪が70cmを越えたので、Iさんはスノーシューでラッセル、私はそのままつぼ足で進みました。スノーシューは快適にどんどん登っていきませんが、私がおのちをつぼ足で踏むとやっぱり潜ります。結局、頂上まで約4時間程かかりました。これより、私は下りにミニスキーを使いましたが、これが計画どおりで、標高950m辺りまで、快適に下ることができました。雪が多ければもっと下までいけたと思います。

ブナ林などの天然林が豊富で雪が多いと、樹間は結構空いていて滑りやすいのですが、植林が多く雪不足の斜面では頻りに方向転換やステップを踏んでの下降をしなければなりません。そのような時はミニスキーが威力を発揮することがわかりました。方向転換は苦もなくでき、外してから担ぐのも至極簡単です。軽いのが何よりです。低山に限らず、アルプスなどでシール登高のできないバリエーションルートを登り、下りにスキーを利用する時はミニスキーがよいと思います。以前から、登山靴で普通サイズの板を担いでバリエーションを登り、下りはスキーを利用することはしていましたが、今回の経験から、積雪と地域、ルートを事前に見極めることによって、用具の使い分けが一層必要であることを学びました。これからは、一つの山スキーのスタイルとして、登りはスノーシュー、時にはアイゼンとロープを使い、下りはミニスキーを使うことで結構楽しめるということがわかりました。

なお今回、自家製(古いスキーブーツから部品取りをして作った手製)の靴のプロテクターも試すため、あえて登山靴を使いましたが、プロテクターのホールド感もよく、手製ですがまずまずのできでした。以下に写真と説明を掲載しました。なお、ロシニユールからフリーベンチャー(ミニスキー)が発売されていますが、板は少し重たいようです。ただしシール歩行が可能です。こちらの評価は以下のHPを参考にして下さい。 http://tohoku-tozan.info/equipment_ski.htm



ザックに付けた板

ミニスキーとスノーシュー

山頂(1284.7m)

左の写真説明:山靴にスキーブーツのインナーを使用しています
紺色はスキーブーツの上半分を解体して作った手製プロテクターです



スキーは長さ80cm
流れ止めはアジャスト式

狭い樹間や急斜面では片方のスキー
だけに制動をかけて滑るのが効果的

担ぎ方は、ミニスキーのひもを結び、背中とザックの間にぶら下げるだけ。手で持ってもかなり軽いです。